

2025年度 神戸市政策会議 概要

開催日時	2025年12月19日（金）9時55分～10時30分
出席者	市長、副市長、企画調整局長、企画調整局副局長、企画調整局政策課長、行財政局長、行財政局副局長、行財政局財務課長、福祉局長、福祉局副局長、福祉局介護保険課課長（介護予防担当）、健康局長、健康局副局長、健康局政策課長、健康局保健所保健課課長（健康・食育推進担当）、経済観光局副局長、経済観光局経済政策課課長（雇用・労働担当）
議題	シニア世代が健康で活躍できる社会に向けて
提案概要	<p>○疾病対策による健康寿命の延伸</p> <p><現状・課題></p> <ul style="list-style-type: none">・国民生活基礎調査等により、介護が必要となった原因として、「認知症」「生活習慣病（脳血管疾患等）」「骨折・骨粗しょう症」が挙げられている。・要介護状態になることを防ぐためには、これらの疾病を「重点対策疾病」と位置づけ、対策していく必要がある。・現在対策が不十分である「骨粗しょう症」、および「生活習慣病（脳血管疾患等）」について、より重点的に対策を実施していく。 <p><提案内容></p> <ul style="list-style-type: none">・要介護状態になることを防ぎ健康寿命を延伸するため、新たに骨粗しょう症検診、受診指導など骨粗しょう症対策を実施する。・生活習慣病の治療が必要な後期高齢者を対象に、保健師・管理栄養士・歯科衛生士のチームを編成して要治療者宅へ訪問し受診指導を実施するなど、生活習慣病対策を強化する。 <p>○新たな通所型サービスによるフレイル対策の充実</p> <p><現状・課題></p> <ul style="list-style-type: none">・軽度者向けの通所型サービスは介護予防通所サービスとフレイル改善通所サービスの2種類を実施しているが、選択肢が少ない。・介護予防通所サービスは介護事業所が実施しており、人員配置基準等は要介護者が利用する通所介護と同等のため、軽度者にとっては利用者の自立支援に適したサービスになっていない場合がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル改善通所サービスを利用後、引き続きサービスによる支援が必要な場合に適したサービスの選択肢がなく、介護予防通所サービスの利用に繋がっている。 <p><提案内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・要支援1・2、心身機能に低下がみられる方を対象に、新たな通所型サービスを創設する。 ・2026年度は10か所で実施し、2030年度までにあんしんすこやかセンター圏域に概ね1か所、合計76か所程度の設置を目指す。 <p>○就労支援によるシニアのさらなる活躍</p> <p><現状・課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、生産年齢人口の減少に伴い、さらなる人材獲得競争の激化が想定される一方、まだシニア人材に目を向けていない企業も一定数存在。 ・シニア世代が実際に従事する職種はサービス職や運搬・清掃職などが多い一方、事務職等を求める傾向にありミスマッチが発生。 <p><提案内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア相談・就労支援事業の対象を従来のシニア世代に加え、就職氷河期世代にも拡大。 ・求職者のスキルアップに向けた支援を実施。 ・合同就職面接会を拡充し、より多数かつ多様な企業が参画する大規模面接会を開催。
<p>会議結果 (主な意見等を含む)</p>	<p>全体の方向性については了。</p> <p><疾病対策による健康寿命の延伸></p> <p>○骨粗しょう症検診については、検診の実施によって症状の進行を遅らせたり、改善につなげたりできるのかが不透明。</p>